



(出席者)  
 新井 博  
 伊東總吉  
 高木巧治  
 太田貞雄  
 福田豊万  
 杉野和夫  
 小松富士男  
 今井敬子  
 野原 宏  
 野口 勉  
 宇都宮義文  
 田中 実  
 和田孝明・幸子  
 福井 豊  
 中村 徹  
 畝 一雄  
 鈴木忠男  
 平園賢一  
 堀 良慶  
 伊藤英一  
 中島由夫(ゲスト)  
 金子茂夫  
 井澤尚子

あーと・わの会 ( 通称「わの会」 )

# 第53回放談会

日時 2019年 1月20日(日) 13時～16時

場所 TKP上野駅前ビジネスセンター

カンファレンスルーム6

出席者 (計24名)

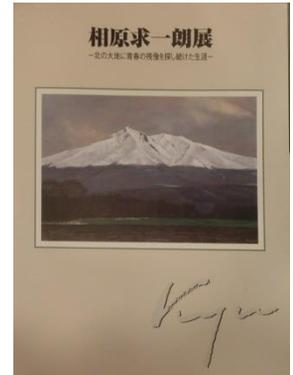


## 第53回放談会(発表順)

出品者 新井 博さん



作家名 相原求一朗  
作品名 「満州点描」  
材料・技法 紙・水彩  
制作年 1941年頃～?  
サイズ

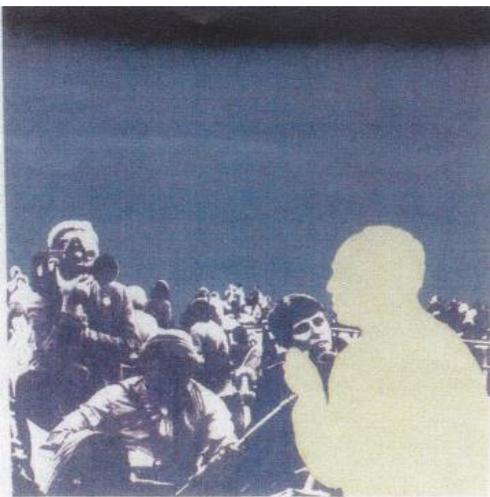


相原求一朗氏の七回忌に  
靴紐で綴られた本を奥様  
がまとめられた。  
生誕100年相原求一朗展  
(川越市美術館  
2018/1/1~2019/3/24)開催



作家略歴 相原求一朗 (あいはら・きゅういちろう/1918 ~ 1999年)  
埼玉県生れ。1948年猪熊弦一郎に師事。63年新制作展で新作家賞。68年新制作協会  
会員。海外取材。日动画廊で個展。87年埼玉文化賞。96年川越市名誉市民。北海道に相  
原求一朗美術館開館。99年没、80歳。(出典 わ眼)

出品者 伊東總吉さん



作家名 野田哲也  
作品名 「日記 1970年4月22日  
ニューヨーク(g)」  
材料・技法 和紙・木版3版・  
シルクスクリーン4版  
制作年 1970年  
サイズ 45 × 45cm  
Ed.30 H.C.7 A.P.5 18/30

作家略歴 野田哲也 (のだ・てつや/1940年～ )  
熊本県生れ。1963年東京藝術大学院絵画研究科油絵専攻卒。65年同大学大学院絵  
画研究科油絵専攻修了。68年東京国際版画ビエンナーレ国際大賞を受賞。91年東京藝  
術大学教授。2014年大英博物館で半年間個展を開催。東京藝術大学名誉教授。

出品者 高木巧治さん



作家名	米良道博
作品名	「風景」
材料・技法	キャンバス・油彩
制作年	不明
サイズ	サムホール

コメント

私の地元で岡山勝央町出身画家 福島金一郎(二科)の師は鍋井克之でして、米良道博も二科と関係があり、コレクションしました。しかし寄贈は受け付けてもらえませんでした！！(地元の美術館にです！)

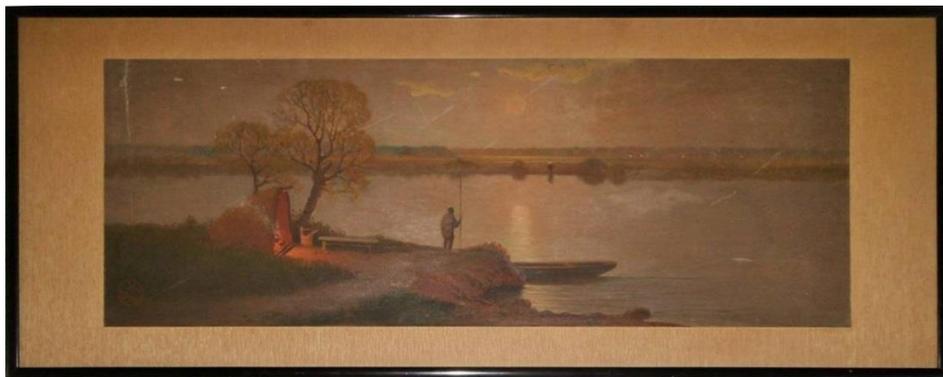
作家略歴 米良道博 (めら・どうはく/1903～1983年) 和歌山県生れ。1923年和歌山師範学校卒。27年信濃橋洋画研究所で小出檜重や鍋井克之に師事。29年二科展入選、39年二科展で特待、41年二科会会友、48年二科会会員。55年同志と一陽会を結成、会員。60年全関西美術展の審査員。大阪で没、79歳。

出品者 太田貞雄さん

コメント

幼い頃、叔父に連れられて多摩川に鯉を釣りに行き、退屈した記憶。(成果は鯉一匹のみ。)

作家名	須田輝州
作品名	「夜釣り」
材料・技法	絹地に油彩 (不明、岩絵の具か)
制作年	不明
サイズ	扁額 38×103cm



作家略歴 須田輝洲 (すだ・きしゅう/生没年不詳) 1893年明治美術会第5回展に出品。97年入場有料で「百美人油絵展」を丹羽林平と開催(東両国江東館)。98年明治美術会創立十周年記念展に出品。作品所蔵先:山岡コレクション、徳川記念財団。師、生没年不詳。(出典 わ眼)

出品者 福田豊万さん

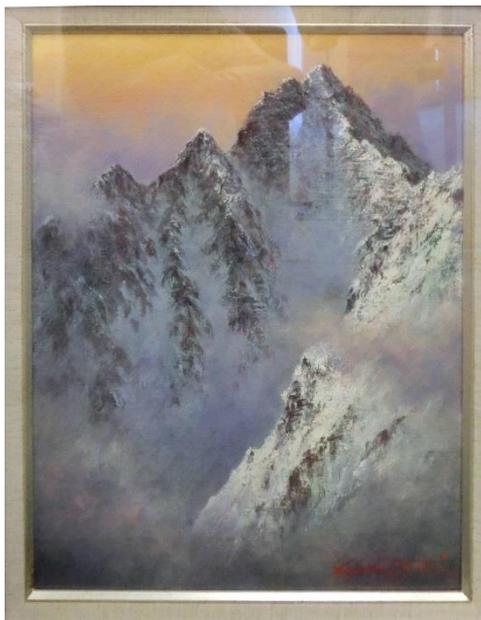


作家名	中島由夫
作品名	「黄色い太陽」
材料・技法	キャンバス・アクリル
制作年	2018-2019年
サイズ	F3号

コメント 2019.1.18～2019.1.27まで  
銀座のギャラリー枝香庵で個展中の作家  
にお願いしてお話をしてみました。

作家略歴 中島由夫（なかじま・よしお/1940年～）埼玉県生れ。明治学院大学、武蔵野美術大学で学ぶ。1964年オランダでコブラ派と出会う。ロッテルダム美術大学、アントワープ王立アカデミーに学び、72年Valand美術大学（スウェーデン）卒。73～77年UBBEBODAセンター現代美術研究所を設立して芸術運動を展開。77～84年SKANSKAKONST AKADEMIEN校長。90年埼玉県立近代美術館個展。04～08年北欧で個展多数。11年RAUS中島由夫現代美術館開館（スウェーデン・ヘルシングボリ）。

出品者 杉野和夫さん



作家名	武井 清
作品名	「前穂高岳北尾根」
材料・技法	キャンバス・油彩
制作年	2012年
サイズ	F6号

コメント  
登山家の描く山の自然の美しさは登った者にしか解らない

作家略歴 武井 清（たけい・きよし/1931年～）東京生れ。1953年中央大学卒。73年サロン・デ・ボザール展特選。81年光陽会奨励賞。78年以降個展開催（さえぐさ画廊、小田急百貨店、銀座三越、渋谷東急）98年日本山岳画協会会員、代表幹事。日本山岳会会員。

出品者 小松富士男さん



作家名	関野準一郎
作品名	オクラ、ホオズキ、 トウガラシ
材料・技法	多色木版—石版?
制作年	不明
サイズ	26×20cm

コメント

木版画の特徴を生かし、単純化した形と制限された色彩、配置の妙で魅力的である。

関野準一郎（せきの・じゅんいちろう/1914～1988年）青森市生れ。青森中学時代から木版に熱中、又銅版画に興味を持ち、今純三に銅版画の指導を受ける。1935年第二部にエッチングが入選。35年日本版画協会展に木版画が入選。38年日本版画協会会員。39年上京、恩地孝二郎に師事。リュブリアナ国際版画展で受賞。79年東海道五十三次が芸術選奨文部大臣賞。88年没、74歳。版

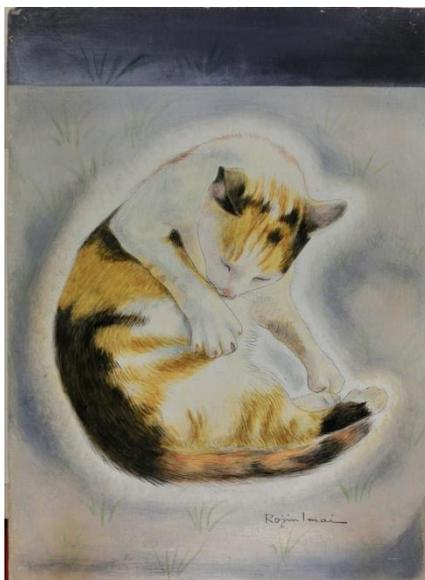
出品者 今井敬子さん

作家名	今井敬子(岸)
作品名	浅門
材料・技法	水彩
制作年	2013年



コメント 今井敬子、初めての水彩画展(60点)小諸高原美術館

作家名	今井ロゼン
作品名	猫
材料・技法	キャンバス・油彩
制作年	1950年
サイズ	F4号



コメント

今井ロゼン(父)、1950年代の作品、藤田嗣治が1949年アメリカに出国したあと、ロゼン スタイルができる。

作家略歴 今井ロゼン (いまい・ろぜん/1909～1994年)

満州生れ。太平洋美術学校本科油絵科修了。1941～49年藤田嗣治に師事。中央公論社画廊、スルガ台画廊で個展。70年二科会会員。75年二科会員努力賞。94年没、85歳。

出品者 野原 宏さん



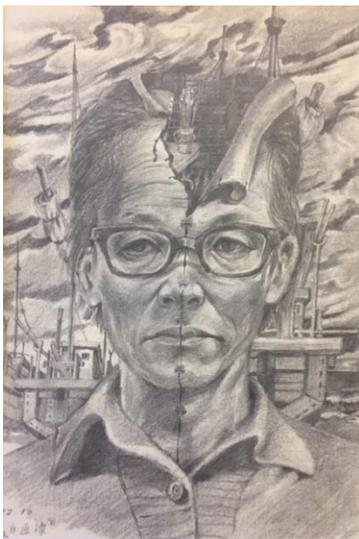
作家名	荒井龍男
作品名	「アダムとイブ」
材料・技法	紙・グアッシュ
制作年	1954年頃
サイズ	31.5×24cm

コメント

1955年(昭和30年)5月に海外での高い評価を土産に帰国し、7月にブリヂストン美術館で帰朝展を開いた。9月にはあっけなくこの世を去ってしまった。

**荒井龍男** (あらい・たつお/1904～1955年) 大分県生れ。1924年太平洋画会研究所。34～36年渡仏。ザッキンに学ぶ。37年自由美術家協会会員。50年モダンアート協会創立会員。NYリバーサイド美術館、サンパウロ近代美術館、ブリヂストン美術館で個展。55年没、51歳。(出典 わ眼)

出品者 野口 勉さん



作家名	内田 晃
作品名	自画像2点
材料・技法	紙・鉛筆
制作年	
サイズ	約30×20cm
遺族所蔵スケッチブックから	

コメント<内田晃・自画像2点>  
画家にとって自画像ほど難しいものはないだろう。  
内田はウイットに富んで内的心理を見事に描いた。  
非公開で遺族が秘蔵していたスケッチブックから発見した貴重な作品である。



**作家略歴** **内田 晃** (うちだ・あきら/1918～2004年) 埼玉県生れ、1954年白日展入選、58年白日会会員。67年第一美術展で特選、同会会員、68年同会委員、70年同会常任委員。74年大調和会会員。75年大調和会委員のち常任委員。89年大調和展文部大臣賞。85年銀座松屋で個展。02年二元会常任委員推挙、渡欧30回超える。04年没、86歳。

出品者 野口 勉さん



「古今亭志ん生半世記」  
朋文社 昭和31年6月15日発行  
著者:古今亭志ん生  
装丁挿絵:松下紀久雄

コメント<松下紀久雄・装丁挿絵本 コメント>

松下の挿絵がNHK大河ドラマ「いだてん」に採用され、第18回に放映が予定されている。志ん生も松下も苦しい戦争体験があり悲しくも笑いを交えた内容がいかんなく表現されている逸品である。

作家略歴 **松下紀久雄**（まつした・きくお/1918～2010年）東京生れ。画家、漫画家、作家。太平洋画塾卒。1952年『朝日新聞』に「東京むかしむかし」(イラスト)を連載。63年『朝日新聞多摩版』に「武蔵野むかしむかし」を連載。イラスト・挿絵。展覧会60回。作家の佐賀潜は実兄。87年奥多摩に「松下紀久雄むかし絵」美術館開館。2010年没、102歳。墨彩

出品者 宇都宮義文さん



作家名	山内一生
作品名	「猪」(2019年の干支色紙)
材料・技法	手漉き和紙・色紙
制作年	2018年
サイズ	25 × 28cm

コメント コメント友人がこの作家の美術館を開設。本年の干支の猪の色紙を呉れた。会員各位の猪突猛進に期待。

1947年紙漉業をはじめ。1953年日展初入選。現特別会員。紺綬、旭日少授章各授賞。皇室献上、買上あり。

作家略歴 **山内一生**（やまうち・いっせい/1929年～）愛知県生れ。1947年藤井達吉に師事、紙漉き。53年日展入選、65年新日展で特選、74年審査員、86年評議員、97年内閣総理大臣賞、2010年参与。

79年日本新工芸展審査員。96年地域文化功労者文部大臣表彰。2007年旭日小綬賞受章。2012年、日工会展で内閣総理大臣賞受賞。工、紙漉き

出品者 田中 実さん



作家名	西田 勝
作品名	「少年」
材料・技法	キャンバス・油彩
制作年	不明
サイズ	F4号 24×33cm

市場にはあまり出ない作品である

作家略歴 西田 勝（にしだ・まさる/1918～1974年）川崎市生れ。1942年帝国美術学校本科西洋画科卒。42、46年新制作展で新作家賞。47年同会展で岡田賞。51年15周年記念賞。53年新制作派協会会員。67～68年、ニューヨークに滞在。川崎市で没、55歳。

出品者 和田孝明・幸子さん



作家名	栗田政裕
作品名	「夢の棲む街・星河」J8/50
材料・技法	紙・木口木版画
制作年	1986年
サイズ	28.3×40.3cm

#### コメント

現代日本木口木版画界の、代表的な作家の一人である。本作品は、優雅で異国情緒にあふれ、静寂さが旅情をさそう。また、どこからともなく忍びよる夜と、作品の緻密さに引き込まれていくようである。ネパールの街を描いた作品と思われる。

作家略歴 栗田政裕（くりた・まさひろ/1952年～）水戸市生れ。1975年東海大学教養学部芸術学科卒、76年創形美術学校版画科研究科修了。77年日本版画協会展・新人賞。82年日本版画協会展・記念賞。84年版画集『街燈夜想1』、詩画集『山音』刊行。91年個展（茨城県つくば美術館）。95年文化庁派遣芸術家在外研修員（イタリア滞在）。版

出品者 福井 豊さん



作家名 画・石川寅治(1875～1964)  
刻・山岸主計(1893～1984)  
摺・松崎啓三郎(1937～ )  
作品名 「雨後の港」  
材料・技法 多色摺り木版・紙  
制作年 刻は1934年頃・摺は1960  
年以降と推定  
サイズ 30.0×37.8cm(画寸)

コメント 西伊豆風景。版上落款、  
版外左に題名刻摺両者氏名。部  
数不明後刷。初刷は1934年頃、  
摺師・漆原榮次郎(1882～1943・  
漆原由次郎＝木虫の兄)。

作家略歴 石川寅治 (いしかわ・とらじ/1875～1964年) 高知市生れ。1891年上京、不  
同舎で小山正太郎に師事。1901年太平洋画会創立会員。02～04年渡欧米。17年文展無  
鑑査。文展、帝展、新文展、日展に出品、のち委員、監事、審査員。賞多数。43年太平洋美  
術学校校長。47年示現会を創立、代表。49年東京教育大学講師。53年日本  
芸術院賞恩賜賞。東京で没、89歳。水、版、教

作家略歴 山岸主計 (やまぎし・かずえ/1891～1984年) 長野県生れ。15歳ころ上京、  
木版彫刻師武藤季吉に師事。読売新聞社に勤め、鏑木清方、竹下夢二の挿絵を彫る。黒田  
清輝率いる葵橋洋画研究所で美術を学ぶ。独立後、30代中盤より欧州取材。版画集「世界  
百景」その後、「日本百景」を完成。1984年没、92歳

松崎啓三郎 1937千葉県生れ1952木版摺りを高木省治に師事1957独立1988荒川区登録  
無形文化財2011同区指定無形文化財2014瑞宝単光章

出品者 中村 徹さん



「中村傳三郎 美術評論集成」  
藤井明 編  
A5判変型・上製・二段組み・1024頁

コメント 中村傳三郎美術評論集成 刊行に至るまで  
の経緯をお話いただいた。

著者略歴 中村傳三郎 (なかむら でんざぶろう/1916～1994年)美術評論家  
兵庫県出身。甲南高校を経て東京帝国大学文学部美学美術史学科卒。1947年国立博物館附属  
美術研究所(現東京文化財研究所文化財情報資料部)入所。彫塑史専門、91年『明治の彫塑』で  
毎日出版文化賞受賞。

出品者 畝 一雄さん



←:全体図

作家名	武藤 山治
作品名	「仮題・滝」
材料・技法	水墨
制作年	不明
サイズ	130×20cm



コメント  
40年程前 金沢の画廊「ゆたか」  
で購入。空間をいかした文人画と  
して梅雨の一時掛けて楽しむ。

作家略歴 **武藤山治**(むとう・さんじ/1867～1934年)実業家。鐘紡社長。戦前の衆議院議員。1934年北鎌倉の自宅で狙撃され翌日死亡。

出品者 鈴木忠男さん

作家名	小村雪岱
作品名	「両国梶之助」(鈴木彦次郎) 新聞小説挿絵の下図2点
材料・技法	キャンバス・油彩等
制作年	昭和14年
サイズ	16×23.5 cm



コメント 10年位前に買った雪岱の下図  
(骨董市、富岡神社、門仲)新聞小説の  
挿絵である事はわかるが、使われた題名などが判明せず、その間、資料図録や展覧会を  
見たがわからないままだったが、去年(2018年)真田幸治・編の「随筆集」「挿絵集」が続いて  
刊行された。そして後者の本を買い見ると、序章の筆者所蔵の挿絵原画がそれである  
ことが分かった次第です。

作家略歴 **小村雪岱**(こむら・せつたい/1887～1940年) 埼玉県生れ。1908年東京美術学校日本画科選科卒。下村観山教室に学、古画の模写、風俗考証を学ぶ。14年泉鏡花の多くの鏡花作品を装幀、木版多色摺りによる挿絵。22年里見淳の挿絵も手掛けており、装幀のほか、新聞雑誌の挿絵で活躍。雪岱の木版画は、生前のものより、その没後に高見沢木版社などから版行されたものの方が多く、いわゆる新版画に分類。舞台装置の世界で自ら一時期を画した。33年挿絵の代表作となった邦枝完二作の新聞小説『おせん』(東京朝日新聞)、翌昭和9年(1934年)の『お伝地獄』(読売新聞)など数々の作品を発表するなど、挿絵の分野で大きな足跡をのこした。1940年没、54歳。

出品者 平園賢一さん



作家名	中村 宏
作品名	「島」(旧題 沖縄島のエスキース)2018年11月 28日作家本人が木枠裏に共書
材料・技法	油彩・キャンバス
制作年	1956年6月
サイズ	F6号 41×31.8cm

コメント 戦後前衛の2大巨匠が山下菊二と中村宏と言われている。特に我が国の1950年代のルポルタージュ絵画は世界的にも注目されている。今回の作品はその意味でも貴重な新発見と言えよう。

作家略歴 中村 宏（なかむら・ひろし/1932年～）浜松市生れ。1951年日本大学芸術学部美術学科入学。53年青年美術家連合に参加。54～61年アンデパンダン展に出品。55年前衛美術会に入会。55～58年日本大学芸術学部美術研究室入所。56年タケミヤ画廊で個展。66年日本画廊で戦争展。2007年東京現代美術館で個展。

出品者 金子茂夫さん

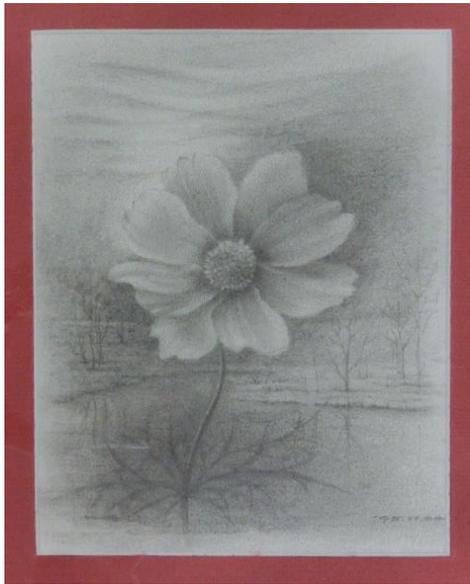
作家名	川瀬巴水
作品名	「相州前川の雨」
材料・技法	木版画
制作年	1932年
サイズ	36.2×24.0cm

コメント 寂寥感あふれる巴水節全開の作品。色抜きで表現されている、雨の夕暮れの微かな陽光や窓明かり、雨面を揺曳する光が効果的。



作家略歴 川瀬巴水（かわせ・はすい/1883～1957年）東京生れ。本名文次郎。1908年葵橋洋画研究所に学び、岡田三郎助に師事。10年鍋木清方に師事。12年巽画会に日本画初出品。13年巽画会で褒状三等受賞。18年以降木版画の制作に打ち込む。30年米国オハイオ州トレド美術館の現代日本版画展に92点出品。33年日本美術協会第93回展で銅賞牌。54年日本木版画協会主催第1回新版画展に出品。57年11月27日東京で没、享年74歳。

出品者 堀 良慶さん



作家名	笹岡 勇
作品名	「コスモス」
材料・技法	紙・鉛筆デッサン
制作年	2017年
サイズ	16.3×12.2cm

コメント 母が柏のケア・ハウスにお世話になった頃のことです。ケア・ハウスの近くにコスモス畑があり、そこを車で通りますが母は左目がほぼ失明状態、右目も視野狭窄15度くらいで車に乗っていたのでは見えないので降りて、そばまで行って手で触れ、鼻で香りを嗅ぎ、頬にコスモスを抱き、愛でていました。細い幹で台風の風にも耐え、立ち直り、花を咲き続けます。

花言葉：真心、少女の純真

この作品はちょっとシュールポイですね！

女性の強さを暗示しているように見えます。

作家略歴 笹岡 勇（ささおか・ゆう/1937年～）1960年多摩美術大学油絵科卒。日本橋三越、アサツウでデザイナーとして活躍。65年創元展、会員、新人賞、審査員。72年デザイン事務所立ち上げ。73年東京展立ち上げに際し、中村正義を事務局としてサポート。78年から事務局長。2000年より再び創作活動開始。17年羽黒洞で個展。

発行	: あーと・わの会
発行日	: 平成31年1月吉日
編集	: 実行委員 あーと・わの会 放談会チーム 司会進行 金子茂夫 写真、編集(デザイン、フォーマット、字体) 井澤尚子
連絡先	: 事務局(堀 良慶) 〒277-0871 柏市若柴1-358 TEL 04-7134-8293 ryokeihori@yahoo.co.jp